

賑やかだった好日荘の2015夏休み

吹田市佐竹台1、2・1の(公財)学
びと心のふれあいセ
ンター「好日荘」で
はこの夏休み、子ど
もたちを対象とした
催しなどを繰り広げ、
例年になく賑わった。
第1弾は、7月31日
に開いた『お坊さん
に学ぶお行儀見習
い』。浄土真宗本願
寺派僧侶でもある笹
辺美和子代表理事が
同荘を会場に活動し
ている街かどデイハ
ウス・コメットの辻
元美奈子代表にも協
力を仰ぎ、日常生活
の中でのちよつとし
た所作や挨拶などを
子どもたちに伝授し
た。また、8月5日
は『雑巾がけ体験』。
参加した子どもたち
は、笹辺代表理事か
が心」と題

「自分は汚れてもして、」「吉日に悪
周囲をきれいにしてをなすに、必ず凶な
人に喜ばれる存在」り。悪日に善を行ふ
と『雑巾の心』を学に、必ず吉なり」と



玄関ホールを中心に階段、廊下で雑巾がけ(8月5日)



正座しての挨拶に緊張気味の子どもたち(7月31日)



こころのお話で講演する慈恩寺の 墨林尚顕住職(8月16日)

言へり。吉凶は、人
によりて、日によら
ず」との徒然草の一
節などを紹介しなが
ら、「人間は良いこ
とがあると今日は良
い日、悪いことがあ
ると今日は悪い日と
いう風に考えてしま
うが、良い悪いを判
断するのは全て自分
の心。良いことも悪
いことも『縁』。自
分の心の中で、それ
をきつちりと判断し
ていくことが大切」

と呼びかけた。
さらに子ども対象
の最後は8月22日の
『地藏盆みたいな楽
しいこと』。笹辺代
表理事が子
どもたちを
守ってくれ
るという地
蔵菩薩のい
われを説明
した後、車
輪を回しな
がら『し
りとり』や



懐かしい電車ごっこで広い和室をぐるりぐり(8月22日)



車座になって大きな輪を回しながらしりとり遊び(8月22日)